

# Living the Lotus

3  
2021

VOL. 186

## Buddhism in Everyday Life

開祖随感

### 逆縁も功德

何か事が起こると、「さあ大変」と言うのが口癖くちくせになっている人がいますが、いつもお話しするように、私は逆に、難問がくると「これは、おもしろくなってきたぞ」と自分に言い聞かせるのです。その紙一重の差が大事だと思うのです。

さあ大変と思うと、腰が引けてしまいます。反対に、「ようし」と心を決めると、すぐ行動が起こせるのです。行動を起こせば、必ずどこかに道が開けてきます。それで自信がついてくるわけです。

創立記念日を迎えて心によみがえってくるのは、恩師の新井助あらい すけ信先生に「仏教は苦滅くめつの道」と学んで、「どんな苦も救うことができる教えを見つけたぞ」と、躍り上がらんばかりだった当時の感動です。その苦滅の道のかなめは、自分に不利なこと、つまり逆縁をも仏さまのご功德であり、善縁なのだと受け取れるようになることにあります。

その考え方で、私はなにごとにも対してきました。それができなくて、本当の宗教者とはいえないと思うのです。とりわけ幹部のみなさん方に、そのところを、しっかりと心に刻みつけておいてもらいたいのです。

(『開祖随感』10, P. 26-27)

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus  
2021年3月号 (Vol.186)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 赤川恵一

編集チーフ: 長田健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



## 会長法話

# 信じて任せる心

立正佼成会会長 庭野日鏡

### 仏の立場で見る

「出替でかわりの笑わらいにふくむなみだかなまつおかせいら」(松岡青蘿)という句があります。「出替(り)」とは、いまでいう人事異動のようなものですが、そこで生まれる悲喜ひきこもごもの様子は、江戸の昔も現代もあまり変わらないようです。

春先になると、企業など多くの組織で人事が話題になります。もちろん本会にも、時期は違うものの定期的に人事異動がありますが、本会では、行政機関に見られるような人事委員会を設けて行なっています。なぜなら、限られた人、たとえば私なら私が一人で人事を担当したりすると、そこに私情が入りこみかねないからです。

私たちは、だれもが凡夫ぼんぷの心をもっています。人の好き嫌いに左右されたり、噂うわさや偏見へんけんに基づくレッテルを貼はって人を評価したりしがちです。しかし、それでは仏の立場で人を見ることにはなりません。「悉有しつうぶつしやう仏性」——生きとし生けるものはみな、仏と同じ本質そなを具そなえていると学びながら、凡夫の視点にとどまってしまうのは、信心がそこにまで至っていないということです。

また、もし私たちが、何かしらのレッテルを貼はってだれかを見ているとしたら、そのレッテルと同じものが自分にもあると省ひきょうものみることも大切です。「あの人は卑怯者ひきょうものだ」と見る自分にも、卑怯な一面があるということです。

法華經ほけきやうの「囑累品ぞくらいほん」では、「みんなが幸せしあわせになれるよう、どうかみなさんに法華經の教えを伝えてください。よろしく頼みますよ」と仏が菩薩ぼさつに託たくしますが、人事に限らず、どのようなときも、仏が菩薩を見るように人を見て信頼できたなら、どれほ

ど心が安らぐことでしょう。信じて任せきる仏のように、人を見ることができる、信じられるというのは、それだけで大きな功德くどくをいただいているのです。

## 釈尊の信託と創立の願い

高齢者を狙った詐欺犯罪さぎなどが世間を騒がせる時代ですから、「悉有仏性だから」といって、だれかれなく信用できるわけではないかもしれません。その意味では、せめて「自分」は、嘘うそをついたり人を誹謗中傷ひぼうちゅうしょうしたりしないで、人びととたくさん「信」をはぐくんでいきたいものです。

「信」という字は「人」と「言」の組みあわせでできていますが、人の言葉は「心のあらわれ」なので、「マコトを意味する」と、私は学びました。言葉の「言」は「命」のことで、「宇宙、神、仏の命が言葉となってあらわれている」ともあり、そのような言葉を人と交わすのは、お互いに相手を信じているからだといえます。

誠意をもって言葉を発することは、人を信じることや、信じられる人になることにもつながる大切なことです。いかにも当たり前のことですが、それがなかなかできない私たちであると、自戒じかいをこめて思わせられます。

信じて任せるといえば、私たちは日々、「南無妙法蓮華經なむみょうほうれんげきょう」の題目だいもくを唱えています。これは、「すべての人が仏となり、幸せになれることを信じて、神仏のはからいにお任せします」と誓っていることにほかなりません。浄土宗の藤井実応師は、「まかせたる身は安らかで力強い。きょうもアミダの中にとともに、明るく生きていこう」といわれていますが、題目の意味あいふじい じつおうに藤井師のこの言葉を重ねると、どのような時代や環境にあっても「明るく生きていこう」という気概きがいが湧いてくるのではないのでしょうか。

また本会では、創立以来、「入会者即布教者」を信条としてきました。それも、みんなの幸せを願う釈尊からの信託しやくそん しんたくであり、会員のみなさんなら大丈夫という開祖さまの信任によるものです。まずは、前向きに心をととのえ、神仏や人との絆きずなを結ぶ「信」を深めてまいりましょう。

(『佼成』2021年3月号)



## 感謝の心を大切に生きる ——海外修養科の二年間を終えて——

スリランカ教会

カストゥリアーラッチラゲー・ラジッタ・マドゥランガ・スリヤーナンダ

私はスリランカ教会のカストゥリアーラッチラゲー・ラジッタと申します。1992年11月27日、私はスリランカ北中部州のポロンナルワで、カストゥリアーラッチラゲー家の長男として生んでいただきました。両親、私、そして弟二人の五人家族です。二歳までは両親のもとで育ちましたが、そのあと十六歳になるまで叔母の家に預けられました。父が軍の仕事をしていた関係で、両親が紛争地域へ行くことになったため、まだ幼かった私の身の安全を考え叔母の家に預けられたのです。

その後、二人の弟もでき、私が十六歳の時には、また家族一緒に生活が始まりました。しかし、そんな楽しい暮らしも束の間、私が十八歳の時、母がある日突然家を出て行ってしまったのです。

ちょうど私の進学試験の時、試験が終わったあと、私は父と一緒に母を探し回りました。しかし、ようやく母を見つけ出し、家に戻るように説得したものの、さまざまな不平・不満を抱えていた母は、家族とは一緒に生活したくないと言って聞きませんでした。何度も話し合い、警察にも仲裁に入ってもらいましたが、母には応ずる気配はなく、結局父と私たち兄弟三人だけの暮らしが再び始まりました。

母のいないさびしさのなかで、心のよりどころとなったのは佼成会のサンガでした。教会に行くことだけが私の楽しみでした。以前にも、叔母に連れられて佼成会に行ったことはありましたが、その時はまだ小さかったので、佼成会がどういうところかわかりませんでした。しかし、会員の皆さんはお数珠を持ち、おたすきをかけて何かの本を読んでいる、子ども心にも教会は楽しい場

所だったように記憶しています。成長して佼成会のことが多少わかるようになってからは、青年部活動とおして法座やセミナーに参加するようになり、そこで過ごした時間は私にとって得難いものとなりました。そんな楽しい時間が欲しくて、自分から佼成会に行くようになりました。佼成会の教えを学ぶうちに、あらためてその素晴らしさに気づくことができ、日々のさまざまな出来事に対してご指導をいただくうちに、教えをさらに学びたいという気持ちが強くなっていきました。

当時、教会の隣には自動車関係の専門学校がありました。私はその頃、平日は専門学校に通い、週末は教会に通っていました。教会で学林を卒林して帰ってきた先輩たちの姿を見ているうちに、いつか自分も日本に行き、学林で勉強してみたいと思うようになりました。そんな気持ちを察してか、当時スリランカ教会長をされていた山本宜亮教会長さんが、私に学林への進学を勧めてくださいました。私には、仏さまから声をかけ



スリランカで行われている家庭拠点法座に参加するラジッタさん（中央）

ていただいたように思え、とてもうれしかったことが今も忘れられません。後日、私は父に相談し、学林の海外修養科を受験させていただくことができました。

日本で生活することは、日本語が全く分からなかった私にはとても大変なことでした。しかし、学林の講師の先生方や寮の先輩に教えていただきながら、次第に学林生活に慣れていきました。

ここで、学林海外修養科生として秋田教会で布教実習をさせていただいた時のことをお話しさせていただきます。ある日、教会の夕方六時のご供養のあと、一人の信者さん(Aさん)とお話をしました。Aさんをご供養をしている私を見て、流産した子どものことを思い出したと言われました。Aさんとは初対面だったので、何故そんな悲しい思い出を私に話してくださったのだろうかと考えました。翌日、そのことを高橋一郎教会長さんにお話しすると「ご本人に聞いてみるといいよ」と言ってくださいました。Aさんに理由をお聞きすると、Aさんは「流産した子どもが、もし元気に育っていれば、今はラジッタさんと同じ年齢なんです。今まで二十六年間、子どものことは一日も忘れたことはないし、今でも思い出すと涙が出ます」と話してくれました。

私は、Aさんは子どもさんのことを大切にされているのだなと思い、同時に自分の母親のことを考えました。私たちを捨てて家を出て行った母のことを、私は自己中心的な人間だと思ってずっと恨んでいました。しかし、よく思い返してみると、叔母の家に預けられていた時、母は毎週顔を見に来てくれて、欲しいものを

買ってくれたり、遊びに連れて行ってってくれたりしました。また、私が入院した時にも、病室に泊まり込んで看病をしてくれました。いろいろなつらい思いをしながらも、母は私たち兄弟三人が大きくなるまではと、辛抱して育ててくれたのだと思えるようになりました。そして、家族が一緒だった頃の幸せを思い返し、母がいつも私たちのことを大切に考えてくれていたことに気づくと、それまで恨んでいた母を許す気持ちと、私たち兄弟を生み育ててくれたことへの感謝の心が湧いてきました。その時、初めて、自分から母に謝りたいと思いました。

学林での学びや布教実習でのAさんとの出会いのおかげさまで、私は自分のわがままな心を抑えて、人の気持ちを考えられるようになっていきました。

母に対する見方や心が変化したことで、それまで何かにつけてイライラしていた自分が、少し優しくなれたような気がします。私はもともと困っている人を助けたり、人のお手伝いをするのが好きですが、これからはさらに人に喜んでもらえるような布施行をしたいと、心から思えるようになりました。

昨年3月、私は学林での二年間の勉強を終えてスリランカに帰って来ました。コロナ禍のため、帰国後すぐに母に会うことは叶いませんでしたが、電話をすると母はとても喜んでくれました。そして、感染が少し収まりかけた7月、約二年半ぶりに母に会うことができました。再会のうれしさの中、その日は母とお互いの胸の内をよく話し合い、親子間の気持ちの行き違いをなくすことができました。それからは母と毎日のように

電話で話すようになりました。母は私のことをとても心配してくれています。私は父とも母とも仲良くしながら、いずれ両親が仲直りしてくれるものと信じています。母に対する心が変わったことで、誰に対しても、どんな時でも、どんなことにも「ありがとうございます」と言えるようになりました。

去年はコロナ禍の中、父や弟たちと三カ月間一緒に過ごすことができ、感染拡大が一時収まりかけた7月からは、教会に寝泊りしながら修行をさせていただいています。

私にとって学林での一番の学びは、ご先祖さまに感謝することです。私たちがいま生きているのは、先祖の存在があったからこそです。そのことを多くの人にお伝えし、先祖供養の大切さを知ってもらいたいと思います。その上で私にとって大切なのは、一番身近な両親に、この世に生み育ててくれたことを感謝することです。これからは、自分の体験をとおして、両親に

感謝することの大切さを人さまにお伝えしていきたいと思います。二年間の学林生活で得られた気づきと、教えによって救われた喜びを皆さんにお分けし、これからも人さまに喜んでもらえる自分になれるよう精進いたします。また、布施行の大切さと、布施行から得られる功德を、自分から実践することで人さまにお伝えし、一人でも多くの人に救われる喜びを味わっていただきたいと思います。

最後になりましたが、今年の4月に結婚のお手配をいただきました。これからは家庭でも教えの実践をさせていただきます。

ご先祖さま、両親、そして多くの人々のおかげさまで、今日まで生かされてきたことに感謝し、これからも日々感謝の心で人さまに喜んでもらえる自分になれるよう精進させていただきます。

皆さま、ありがとうございました。



学林の講師や海外修養科生の仲間たちと（左から2番目）



# 法華三部經

## 各品のあらましと要点

庭野 日敬

### 妙法蓮華經

#### 妙音菩薩品第二十四

やくおうぼさつほんじん やくおうぼさつほんじん 《薬王菩薩本事品第二十三》の説法を終えられたお釈迦さまは、頭の頂上と しゃか 眉間の白毫相から大光明(智慧の光)をお放ちになりました。

#### みょうおんぼさつ みょうおんぼさつ しゃぼ 妙音菩薩の娑婆世界来訪

すると、遥か東方の浄光莊嚴という国に浄華宿王智如来という仏さまがおられ、そのお弟子に妙音というすばらしい大菩薩がおられるのが見えてきました。その菩薩はその仏さまに、「娑婆世界へ行って釈迦牟尼仏を礼拝し、大菩薩たちとも語り合ってみたいとぞんじます」と申し上げます。

すると、その仏さまは「よろしい。いってきなさい。しかし、娑婆世界はこの国に比べてたいへん汚く、仏さまのおからだも小さいために、あの国の仏・菩薩や国土を軽んずる気持ちが起こりやすいのですが、それはたいへんなまちがだから、気をつけなさい」とお諭になります。浄華宿王智如来の背の高さは六百八十万由旬もあり、妙音菩薩すら四万二千由旬もあり、身は金色に輝いているのですから、娑婆の仏・菩薩とは比べ物にならないわけです。

ところが、その美しくも偉大な姿の妙音菩薩が靈鷲山に到着するや、お釈迦さまのみ前にひれ伏して礼拝し、ていねいに挨拶申し上げたのです。そして、「多宝如来をも拝したいのですが、世尊のお力でお目にかからせていただけませんか」とお願いいたします。お釈迦さまがそのことを多宝如来に伝えられますと、たちまち「よくぞ釈迦牟尼仏を供養に來られました」という多宝如来のおほめの言葉が響いてきました。

このありさまに不思議の感をおぼえた華徳菩薩が、お釈迦さまにわけをお尋ねしますと、お釈迦さまは、妙音菩薩が過去世において雲雷音王仏という仏さまに、一万二千年のあいだ音楽を奏し、八万四千の七宝の器を捧げて供養申し上げた功德によって、このような神力を得たのだとお話しになります。しかも、

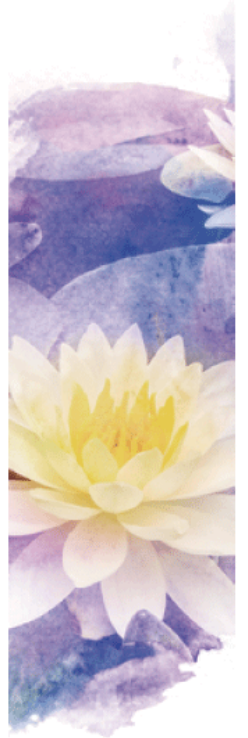
妙音菩薩はいまここにおられるお一人だけでなく、いろいろな身となって所々方々にあらわれ、衆生しゅじょうのために教えを説かれるのだとおおせられました。

一同がそのお話をうかがって、非常に深い感銘を受けますと、妙音菩薩も娑婆に來た目的を果たしたので、淨光莊嚴国へ帰っていかれた。

以上がこの品のあらましですが、淨光莊嚴国というのは、〈理想の世界〉です。理想というものは心の中に創りあげたすがたですから、その国土は普く光り輝き、そのこの仏・菩薩は非常に巨大な、しかもこの世では見られぬような美しい身をもっておられるのです。現実の世界(娑婆)というものは、理想の世界に比べると、国土はたいへん汚く、そのこの仏・菩薩も非常に小さく見えます。

### 理想を現実化する努力こそ

ところが、淨華宿王智如来のお諭のとおり、妙音菩薩は娑婆世界のお釈迦さまを心から崇め、拝みました。ということはつまり、理想世界を現実にこの娑婆に建設しようと努力なさるお釈迦さまは、理想そのものより尊いお方であるということにほかなりません。理想は、単に心の中に描くだけでは、まだ一種の夢にすぎません。それを現実化してこそ、あるいは現実化の努力をしてこそ、その価値は生きてくるのです。これが、この品の第一の要点です。





みょうほう たいしゅう  
妙法を大衆に伝える

次に、過去世の妙音菩薩が長いあいだ音楽を奏し、八万四千の七宝の器を捧げて、仏さまを供養したということですが、音楽を奏したというのは、〈妙法〉を人びとの胸に響かせたということの象徴です。八万四千の七宝の器を捧げたというのは、仏さまの無数の教えを世の大衆に伝えたということです。〈仏さまの説かれた妙法を広く世の大衆に伝える〉ことこそ、仏さまに対する最大の供養であることを、お釈迦さまはここに示されているのです。これが、この品の第二の要点です。

われらも妙音菩薩

それが分かれば、妙音菩薩がいろいろな身となり、所々方々にあらわれて法を説かれるということの意味も、おのずから明かになってくるでしょう。われわれの周囲にも、無数の妙音菩薩がおられるのです。いや、われわれ自身も、法華経ほけきょうの教えに基づいて人のために法を説けば、まちがいなく妙音菩薩の化身だといえることができます。こういう自覚をもつかぎり、どうしても正法流布しょうぼうふのために勇猛精進みょうしょうじんせざるをえなくなるはずです。これが、この品の第三の要点です。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』

校成出版社, 2016年 [初版 1991年], P.204-208)



# Director's Column

## 値段のつけられないご褒美

国際伝道部長

赤川 恵一

今年も創立の月を迎えました。昨年、創立記念行事が挙げてできなくなり、本当に残念な気持ちで心が一杯になった記憶が蘇ります。

創立83年目の今年は感染状況の急激な改善が見込まれない限り、リモートでの開催であろうと予想されます。心から「おめでとうございます」と満面の笑みで喜び合える日が訪れることを祈念しながら、今は感染対策に徹して「即是道場」の修行を「反省創造」しつつ継続して参りたいと思います。

法華経の中でご本仏さまは私たちに菩薩の自覚を促し、どんなに「凡夫の心」をもった私たちであっても信じて任せ切ってください。コロナ禍の第3波の最中であっては「凡夫の心」が暴れ出しやすいのかもしれませんが、その渦中にあるからこそ、私たちの信心はさらなる成長の機会を与えていただけるのだと信じます。

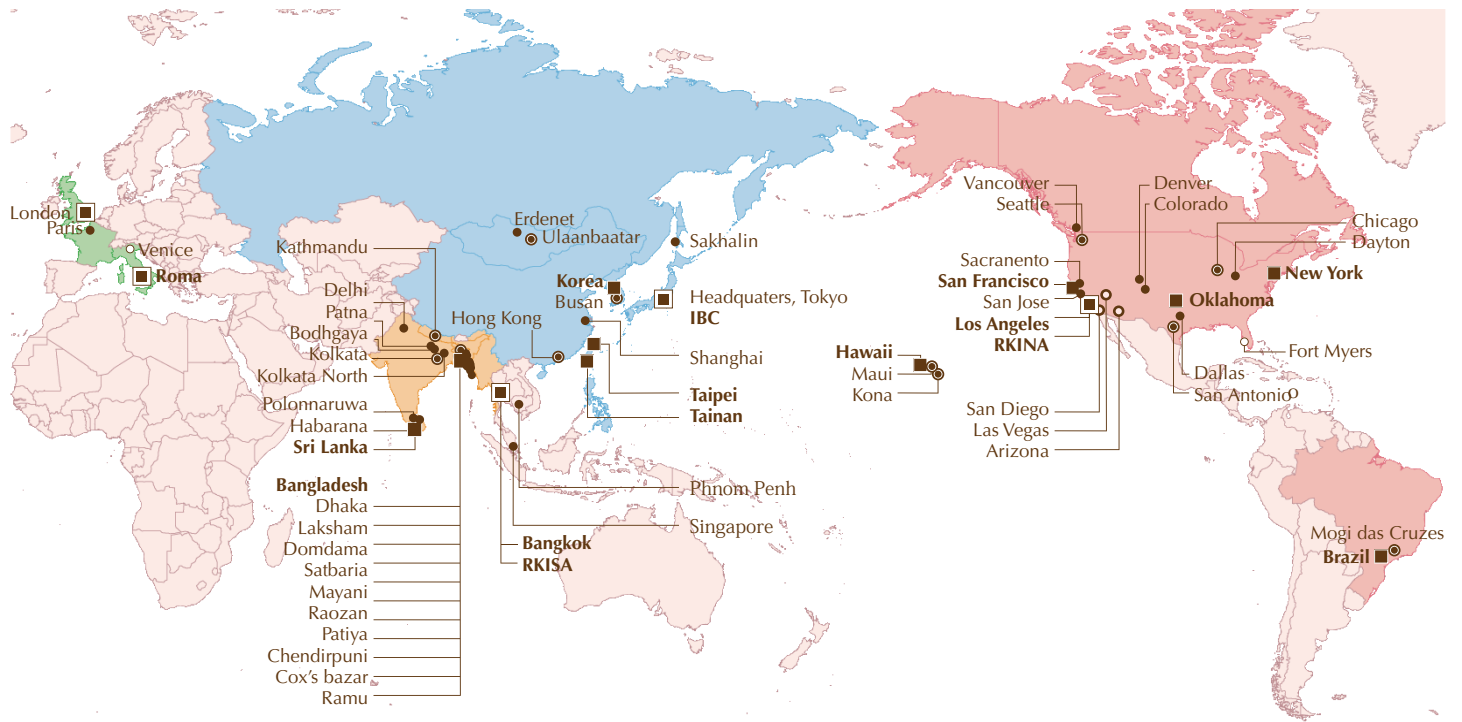
パンデミックという世界の共苦から、自己中心な心を見つめ直し、「まず人さま」と思いやれる心を育てながら、私たちにできる足元の小さな菩薩行をご本仏さまは願っておられるのだと思います。きっと「悦び」という値段のつけられないご褒美が返ってくること請け合いです。合掌

✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
 POBox 33636, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
 POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
 TEL: 1-650-359-6951 Email: [info@rksf.org](mailto:info@rksf.org) URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento**
- Rissho Kosei-kai of San Jose**

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
 TEL: 1-212-867-5677 Email: [rky39@gmail.com](mailto:rky39@gmail.com) URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
 TEL: 1-773-842-5654  
 Email: [murakami4838@aol.com](mailto:murakami4838@aol.com) URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
 POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
 Email: [rkokdc@gmail.com](mailto:rkokdc@gmail.com) URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA  
 TEL: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: [dharmasa@rksabuddhistcenter.org](mailto:dharmasa@rksabuddhistcenter.org)  
 URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA  
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745  
 Email: [dharmasanantonio@gmail.com](mailto:dharmasanantonio@gmail.com)  
 URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
 TEL: 1-253-945-0024 Email: [rkseattlewashington@gmail.com](mailto:rkseattlewashington@gmail.com)  
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
 Email: [risho@rkk.org.br](mailto:risho@rkk.org.br) URL: <http://www.rkk.org.br>



**Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes**

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

**在家佛教韓國立正佼成會**

〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部**

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

**社團法人在家佛教立正佼成會**

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

**台南市在家佛教立正佼成會**

台灣台南市崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: koseikaitainan@gmail.com

**Rissho Kosei-kai South Asia Division**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

**Rissho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,  
Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**

Please contact Rissho Kosei-kai of Kolkata

**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Singapore**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

**RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Bangkok**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei Dhamma Foundation**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**

Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

**Rissho Kosei-kai Bangladesh**

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL/FAX: 880-31-626575

**Rissho Kosei-kai Mayani**

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Damdama**

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Satbaria**

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Chendhirpuni**

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Raozan**

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Laksham**

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Dhaka**

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Cox's Bazar**

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Patiya****Rissho Kosei-kai Ramu****Rissho Kosei-kai Aburkhiln****Buddiyskiy khram "Lotos"**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia  
TEL: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai****Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia  
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia  
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Erdenet**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia  
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

**Rissho Kosei-kai of Paris****Rissho Kosei-kai of Venezia****Rissho Kosei-kai of the UK**

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK  
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: <https://www.rkuk.org>  
Facebook: <https://www.facebook.com/rkuk.official>  
Twitter: [https://twitter.com/rkuk\\_official](https://twitter.com/rkuk_official)  
Instagram: [https://www.instagram.com/rkuk\\_official](https://www.instagram.com/rkuk_official)

**Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)**

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F  
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan  
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>